

高等学校 令和6年度（3学年用）

教科 社会（地歴）

日本史探究演習

教科： 地理歴史

科目： 日本史探究演習

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組（① ～ ④）

使用教科書：（ 詳説日本史探究（山川出版）

）

教科 社会（地歴）

の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会を実現するための課題を主体的に解決しようとする態度を養う。日本や他国の文化を尊重することの大切さを自覚し、深める。

日本史探究演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 近世から現代へ 近代国家の成立 【知識及び技能】 ・江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	・指導事項 ・教材 教科書、図説、10分間テスト、プリント ・Classiを活用し課題配信	【知識・技能】 ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 【思考・判断・表現】 ・日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
	A 単元 近代国家の展開 【知識及び技能】 ・東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。 ・ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。	・指導事項 ・教材 教科書、図説、10分間テスト、プリント ・Classiを活用し課題配信	【知識・技能】 ・日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 ・議会在が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○	○	1

1 学 期	A 単元 近代の産業と生活 恐慌と第二次世界大戦 【知識及び技能】 ・戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、戦争の長期化と欧米諸国との外交関係に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前的惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。	・指導事項 ・教材 教科書、図説、10分間テスト、プリント ・Classiを活用し課題配信	【知識・技能】 ・国家主義的な思想の形成、実証的な学問研究、欧米の科学技術の導入、教育の普及・拡充について、諸資料から情報を読み取る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・当時の社会が抱えた矛盾と満洲事変などの対外政策、国内での軍部の政治的進出などの諸事象を相互に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・満洲事変や国内の国家改造運動の展開を考察することを通じて、軍部の政治的台頭がもたらした課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	A 単元 占領下の日本 高度成長の時代 【知識及び技能】 ・戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれにもなう諸改革について、その経過と内容を理解する。 ・ 【思考力、判断力、表現力等】 ・朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 ・ 【学びに向かう力、人間性等】 ・連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。	・指導事項 ・教材 教科書、図説、10分間テスト、プリント ・Classiを活用し課題配信	【知識・技能】 ・第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。 【思考・判断・表現】 ・戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	36
	定期考査			○	○	○	1

2 学 期	A 単元 激動する世界と日本 入試問題演習	・指導事項 ・教材 教科書、図説、10分間テスト、 プリント ・Classiを活用し課題配信	【知識・技能】 ・ドル＝ショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。				
	【知識及び技能】 ・ドル＝ショックや石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を理解する。	【思考力、判断力、表現力等】 ・高度成長が終焉し、保守政権が動揺する中、2度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。	【思考・判断・表現】 ・日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に追究しようとしている。					
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	入試問題演習 問題演習・テーマ史			○	○	○	32
							合計
							140